

# イノベーションシティ大阪 ビジネスガイド

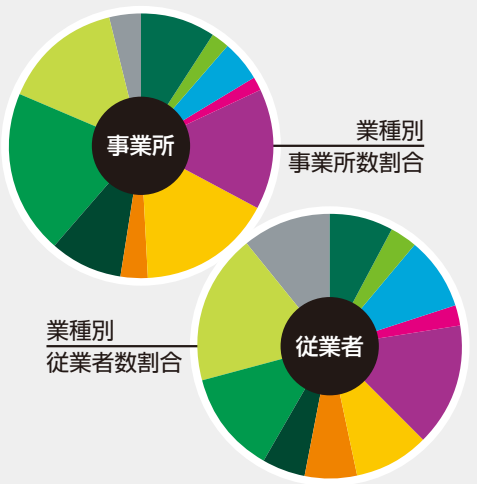
## Innovation in Osaka City - Guide for Business Expansion

大阪市では現在、世界から人材・技術・投資が集まる  
イノベーション都市を目指し、多様な取り組みを行っています。  
未来につながるビジネスを創出し、成長させるための  
環境整備が進む大阪市の魅力をご紹介します。

大阪市のデータ ● 出典：「大阪の経済2018年版」大阪市		
人口	2,713,157人	2017年10月現在
昼間人口	3,543,499人	2015年10月現在
人口密度	12,047人/km <sup>2</sup>	2017年10月現在
世帯数	1,392,900世帯	2017年10月現在
事業所数(民営)	181,141ヶ所	2016年7月現在
従業員数(民営)	2,245,679人	2016年7月現在
輸出額	3,144,465百万円	2016年
輸入額	4,341,216百万円	2016年



### 大阪市全体の業務集積(調査対象エリア合計)



- 凡例
- 建設業・不動産業・物品賃貸業
  - 製造業
  - 情報通信業
  - 運輸業・郵便業
  - 卸売業
  - 小売業
  - 金融業・保険業
  - 専門・技術サービス業
  - 宿泊業・飲食サービス業
  - その他サービス業
  - その他(公務を含む)
- 出典：「平成26年経済センサス基礎調査」を基にCBRE作成

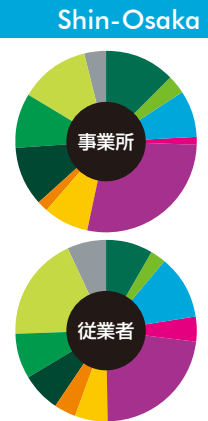
## ビジネスエリア分析

イノベーションシティ大阪 ビジネスガイド  
Innovation in Osaka City - Guide for Business Expansion

### 新大阪

**主要企業** メガチップス、キーエンス、日清食品、  
沢井製薬、SKY、EMシステムズ  
**主要ビル** ニッセイ新大阪ビル、新大阪阪急ビル、  
新大阪ブリックビル

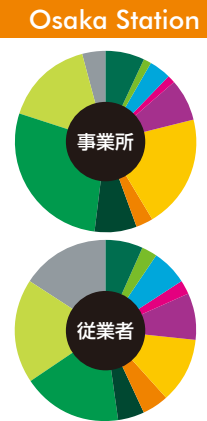
新大阪駅は、新幹線をはじめ主要鉄道3路線が集中し、関西国際空港とも直結している交通の要衝で、国内外の主要都市へのアクセスに優れています。このため広域拠点性の高いエリアとなっており、広域カバーを要求される卸売業の立地が多い点が大きな特徴です。製造業は、ウエイトはそれほど大きくないものの、全国展開企業の関西統括拠点や東京本社企業等の大阪進出拠点として選定されることが多くあります。このほか、情報通信関連の大手企業および中小企業等も多数立地しています。



### 大阪駅周辺

**主要企業** 伊藤忠商事、クラレ、グンゼ、江崎グリコ、サントリー、  
パルヘルホールディングス、参天製薬、丸紅  
**主要ビル** グランフロント大阪タワーA・タワーB、  
梅田阪急ビルオフィスタワー、新ダイビル、  
ノースゲートビルディング、大阪富国生命ビル

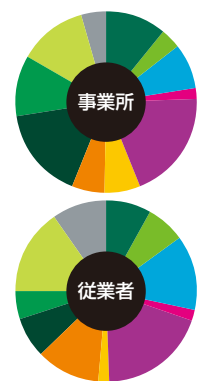
多数の路線が集結する西日本最大のターミナルが形成されており、新線・なにわ筋線の開業によって、さらなる利便性の向上が期待されます。機動性・集客性の高い立地特性を背景に、あらゆる業種の企業が立地していますが、特に集客性を求める企業が多数集積し、金融・保険業、各種サービス業の集積度が高くなっています。一方で、近年、大型でスペックの高いビルが多数供給されたため、各種製造業関連企業等が多数流入しており、ビジネスエリアとしてのポテンシャルも大きく向上しています。



### 淀屋橋・中之島

**主要企業** 住友化学、三菱ケミカル、武田薬品工業  
**主要ビル** 中之島フェスティバルタワー・ウエスト、  
中之島フェスティバルタワー、  
淀屋橋三井ビル、ニッセイ淀屋橋イースト

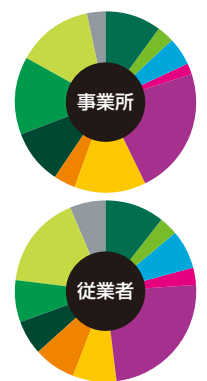
堂島川・土佐堀川の水辺と緑により、落ち着いたビジネス環境が形成されています。従来、大阪のビジネスエリアの中心であり、多数の大阪本社企業のほか、大阪市役所、日銀大阪支店、政治・経済・文化団体等が立地。ビジネスエリアとしてのステータスは高く、イメージ重視の大手企業の進出意向が強くなっており、金融・保険業および情報通信業のウエイトが高い点が大きな特徴です。また、製造業のウエイトも比較的高く、大阪を代表する産業である製菓業を含む化学工業関連企業が多く立地しています。



### 本町・心斎橋

**主要企業** シキボウ、ユニチカレーディング、竹中工務店、  
あすだ監査法人、関西アーバン銀行  
**主要ビル** 本町ガーデンシティ、  
本町南ガーデンシティ

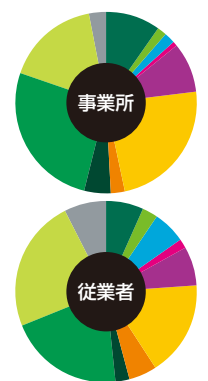
かつて繊維問屋が集積していた船場地区があることから、繊維関連企業が非常に多い点の特徴です。成熟したビジネスエリアである本町駅周辺には、繊維関連以外にも建設業、情報通信関連企業等、多様な業種の立地が見られます。一方、心斎橋駅周辺では、御堂筋沿いには高級ブランドが多数出店し、小売業のウエイトが非常に高くなっています。各種小売・サービス業の出店意欲は高く、最近ではインバウンド需要をターゲットとする出店が目立っています。



### 難波・湊町

**主要企業** 南海電気鉄道、近畿日本ツーリスト関西、浅沼組、  
乃村工務社、バスコ、産業経済新聞社  
**主要ビル** なんばスカイオ、  
マルイト難波ビル

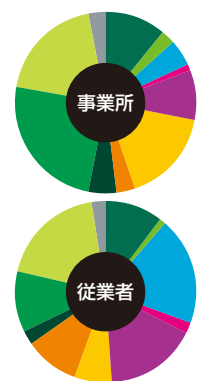
大阪第2の乗降客数を誇るターミナルが形成され、関西国際空港と直結していることから、国内外へのアクセスに優れています。高島屋をはじめ多数の小売店舗が集積し、小売業のウエイトが高いほか、ホテル・飲食店が多く立地しています。このため集客性は非常に高く、小売、飲食、各種サービス業の出店ニーズも高くなっています。さほどウエイトは大きくないものの、製造業や卸売関連企業が営業拠点を設置するケースも見受けられ、大阪南部エリアをカバーするための重要なエリアとなっています。



### 京橋・OBP

**主要企業** 住友生命、東京海上日動火災、KDDI、讀賣テレビ放送、  
富士通エフサス、日本電気通信システム  
**主要ビル** マルイトOBPビル、  
ケイ・オブティコムビル

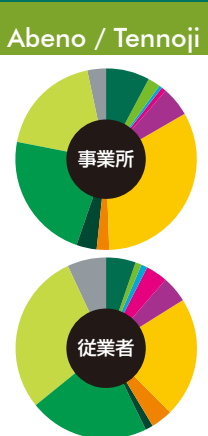
JR、京阪線等が集結するターミナルが存在しており、大阪市内各エリアへの機動性に優れていますが、メインストリートである御堂筋からはやや離れているため、営業拠点として選択されるケースは少なくなっています。一方で、OBPは大阪城公園に隣接し、豊かな水辺と緑地を有しているため、周辺環境に恵まれており、良好なビジネス環境を求める企業の集積が見られます。業種別では、情報通信業関連企業のウエイトが高くなっている点が特徴的で、このほか、金融・保険業の大手企業が立地しています。



### 阿倍野・天王寺

**主要企業** きんえい、奥村組、近鉄百貨店、  
全星薬品工業  
**主要ビル** あべのハルカス

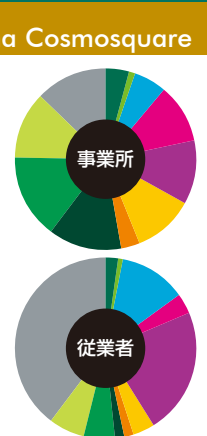
JR、近鉄線等が集結するターミナルが形成され、関西国際空港と直結しており、交通アクセスに優れたエリアです。近鉄百貨店、あべのキューズタウンを中心に多数の小売店舗が立地し、小売業や各種サービス業のウエイトが非常に高くなっており、集客性を求める企業の立地が多い点の特徴です。大阪ビジネスエリアの南端に位置するため、営業拠点として選択されることは少ないですが、難波エリアと同様、製造業や卸売業関連企業といった大阪南部をカバーする拠点が必要な企業に重要なエリアとなっています。



### 咲洲コスモスクエア

**主要企業** 日立造船、ミトヨ、テクノアソシエ、  
いであ、ミスノ、フナック  
**主要ビル** アジア太平洋トレードセンターITM棟・O's棟北館、  
さきしまコスモタワー

大阪都心から車・電車で約20分のロケーションと、ウォーターフロントの良質なビジネス環境から、先端技術開発企業の本社や研究施設をはじめ、データセンター等が集積しています。大阪府咲洲庁舎や大阪市の部局も立地し、行政上の重要拠点にもなっています。当地区では新エネルギーやライフサイエンス関連の産業集積が進められており、製品評価技術基盤機構(NITE)の世界最大級の大型蓄電池システム試験評価施設(NLAB)が開設される等、今後の開発の進行に期待が集まっています。





# 主な開発計画

イノベーションシティ大阪 ビジネスガイド  
Innovation in Osaka City - Guide for Business Expansion

## 大阪梅田ツインタワーズ・サウス

大阪の中心、梅田1丁目1番地に2022年春竣工  
百貨店、オフィス、カンファレンス機能を有する26万㎡のインパクト

本計画は、御堂筋の北側の起点という一等地で、大阪神ビルと阪急ビルの2棟を一体的に建て替えるプロジェクトです。都市再生特別措置法に基づく道路上空建築の規制緩和を日本で初めて活用し、2つの敷地間の都市計画道路の上空も利用した大規模再開発となります。

I期棟は2018年4月に竣工、6月には阪神百貨店（阪神梅田本店）が部分開業しました。2022年春竣工予定のII期棟の高層部分、11～38階のオフィスゾーンには、大型5クラスオフィスを整備。梅田の中でも圧倒的な立地優位性、ワンフロア1,000坪超×26層と西日本最大クラスの規模とランドマーク性、そしてBCP機能の充実（専用部に非常用電力15VA/㎡を72時間供給等）の3点が特長として挙げられます。さらに「つながる梅田の中心」「おもてなしサービス

（取材：2018年10月／阪急阪神不動産株式会社 開発事業本部 開発推進部 開発グループ長 小林 英樹 氏）

●敷地面積／約12,200㎡（道路上空利用区域含む）●延床面積／約260,000㎡●階数／地下3階・地上38階●高さ／約190m●構造／鉄骨造（地下部・鉄骨鉄筋コンクリート造）●竣工／2022年春（予定）●主要施設構成／百貨店ゾーン・地下2階～地上9階、オフィスゾーン・地上11階～38階（延床面積約143,000㎡）、カンファレンスゾーン・地上11階

のあふれるビル」「ウェルビーイングを実感」の3つをオフィスコンセプトに掲げ、カフェやラウンジなど充実の機能を備えたオフィスワーカー専用フロアや、緑を配した約1,000㎡の屋上広場などを設置し、ビル全体で働く人、一人ひとりに快適なオフィス環境を提供する予定です。

また11階には、国際会議にも対応可能な約4,000㎡のカンファレンスゾーンを用意、災害時には帰宅困難者の一時滞留スペースとしても活用できます。ビル周辺では地下・地上・デッキレベルでの3層歩行者ネットワークを強化し、街の回遊性を高めるほか、梅田で培ってきた当社のエリアマネジメント手法を活かし、地域全体の活性化や防災機能向上、そして国際競争力強化に資する街づくりを進めていく考えです。



## うめきた2期地区

2024年の概成に向け、国内屈指のスケールで展開される再開発プロジェクト  
都心一等地に出現する緑のまちが、大阪発イノベーション拠点に

梅田北ヤード跡地再開発事業、「うめきた2期地区」が始動します。当社（三菱地所）を代表企業とするJV9社は、設計・運営事業者6社と共にコンソーシアムを組成、2018年7月に開発事業者に選定されました。

うめきた2期地区は、北街区（民間宅地1.6ha）、南街区（民間宅地3.0ha）、南北をつなぐ都市公園（大阪市4.5ha）で構成されます。プロジェクトのテーマは、「みどり」とイノベーションの融合”。大阪市のまちづくり構想を具現化する、緑と都市機能が一体化した新しい空間を創出します。イノベーションの中核拠点となる施設は主に北街区に設置し、先行開発区域のグランフロント大阪の「ナレッジキャピタル」とデッキで接続して連携を図ります。また都市公園では、一万人規模のイベントも可能な賑わいの広場を整

（取材：2018年10月／三菱地所株式会社 関西支店 うめきた開発ユニット 副主事 有本 慎太郎 氏・國吉 幸樹 氏）

●北街区：敷地面積／15,726㎡、延床面積／146,900㎡、施設構成／ホテル・イノベーション施設・プラットフォーム施設・オフィス・商業施設・分譲住宅・駐車場 ●南街区：敷地面積／30,429㎡、延床面積／374,660㎡、施設構成／オフィス・ホテル・商業施設・都市型スパ・MICE施設・イノベーション施設・分譲住宅・駐車場 ●竣工：2020年10月以降順次 ●開業（一部）：2024年夏頃（予定）

備するとともに、新しいサービスや商品を来街者に実際に体験してもらい、そのデータを収集する等の実証実験の場としても利用する計画。人が生き活きと生きるための「ライフデザインイノベーション」実現に向け、アイデアが創出されるまちを目指します。

南街区には賃貸オフィスやMICE施設・商業施設を設置、また南北両街区にホテルを建設して、インバウンド推進を担います。まちへの動線としては、新大阪駅と関西空港方面をつなぐ新線「なにわ筋線」・「JR東海道線支線」の「（仮称）北梅田駅」と地下通路・デッキで直結し、アクセスを向上させる計画となっています。うめきたから大阪、関西、国内外へと広がる価値を生み出すまちづくりに取り組んでいきます。



※提案時点（2018年5月）の計画概要及びイメージバースであり、今後変更の可能性が有ります。

# 大阪市の企業誘致・立地支援

イノベーションシティ大阪 ビジネスガイド  
Innovation in Osaka City - Guide for Business Expansion

大阪では、環境・エネルギーや健康・医療、IoT・ロボットテクノロジーなど、大阪が特に高いポテンシャルを有し、将来の市場拡大が期待される産業を中心に、関連する企業が世界に向けて新しい製品・イノベーションを発信できるように、国内外の企業の集積や研究開発を促進し、新たなビジネスを生み出すためのサポートを充実させています。

大阪市の企業誘致・立地支援サイト  
**INVEST OSAKA**

▶詳細はホームページをご覧ください。

[www.investosaka.jp](http://www.investosaka.jp)



## 大阪市の企業進出サポート



### 助成制度・税制優遇

企業の進出形態に応じた様々な優遇制度を用意しています。



### 無料レンタルオフィス

市内に拠点進出を検討中の企業、団体を対象に、大阪進出準備のための拠点として、最大6ヶ月間無料で利用できるオフィスを提供しています。



### 充実したサポート内容

事業用物件紹介、人材確保への協力、進出に関する情報提供や相談受付等をはじめ、様々なサービスを提供しています。大阪市の企業誘致業務を受託し、長年実績があるIBPC大阪企業誘致プロジェクトのスタッフが、ニーズに合わせた進出サポートを行います。

### 大阪市イノベーション拠点立地促進助成金制度 助成金 最大3億円

イノベーション創出環境の整備を図るため、オープンイノベーションの推進や、ベンチャー企業等の活動支援に取り組むために設備投資等を行う事業者に対して助成金を交付します。

※そのほかにも、大阪市内全域で利用可能な大阪府の補助制度・税制支援があります。  
※交付にあたっての審査や条件がありますので、詳しくは大阪市またはINVEST OSAKAのホームページ等をご確認ください。

### 市内特定エリアで 利用可能な税制優遇制度 地方税 最大0円

大阪市内の特定地域において、新エネルギー・ライフサイエンスに関する先進的な事業、およびこの両分野を支援する事業を行う場合、大阪市・大阪府に納める地方税を5年間ゼロ、続く5年間で1/2まで軽減します。

### 国の支援制度

国との協議により特区事業として認められた場合、国から規制緩和や制度の特例措置のほかに、税制・金融・財政上の支援措置などが受けられます。

### 大阪市イノベーション拠点立地促進助成金制度 承認を受けた事業計画

オープンイノベーション推進事業	●ヤフー株式会社「交流の森」 ●成光精密株式会社「Garage Minato」
ベンチャー成長促進事業	●株式会社ツクリエ「オギャーズ梅田(Ogyaa's梅田)」 ●株式会社MJE「billage OSAKA」 ●阪急電鉄株式会社「GVH#5」 ●株式会社リバネス「知識創業研究センター(I2K Osaka)・L-nest Innovation HUB」 ●株式会社木幡計器製作所「Garage Taisho」 ●シークリーホールディングス株式会社「Reqree Dojima」 ●一般社団法人i-RooBO Network Forum「オープンテクノロジーセンター Robo & Peace」



## 大阪市は世界とつながるイノベーション・エコシステムの構築に向けて取り組んでいます。

### 西日本最大のターミナル・知の集積拠点「うめきた」

<http://www.city.osaka.lg.jp/toshikeikaku/page/0000005308.html>

先行開発区域にオープンした複合施設「グランフロント大阪」には、年間約5,000万人が訪れています。今後、「みどり」と「イノベーション」・「ものづくり」の融合拠点をめざしたまちづくり(2期開発:約17ha)を進めていく予定です。



### グランフロント大阪

#### 知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」

<http://kc-i.jp/>

ショールーム、オフィス、ラボ、会員制サロン等を備え、国内外の最先端の技術や情報、ビジネスパーソン、研究者、大学関係者、クリエイター、一般生活者など、多彩な才能が分野を超えた交流によるイノベティブなプロジェクトを創出しています。



#### Osaka Innovation Hub (OIH)

<http://www.innovation-osaka.jp/ja/>

世界に挑戦する起業家たちが集い、アイデアソン・ハッカソン、ピッチ、オープンイノベーション、シードアクセラレーション、国際会議など、ビジネスのスケールアップにつながる豊富なイベント(年間約200回)を展開しています。



#### IoT・ロボット実証実験支援プログラム

<http://www.imedia.or.jp/experimentation/>

複合商業施設ATCおよび舞洲スポーツ施設を使って、IoTやロボットテクノロジーを使ったサービスの実証実験を支援します。実施内容に合わせた実証実験場所の調整や、マッチングなどの事業化に必要な支援も提供します。

#### 募集内容

- IoTやロボットテクノロジーを活用した新たな製品やサービスの、実際の利用シーンに近い環境やサービス提供の場所で、想定する性能や効果を発揮できるかどうかを検証するもの。
- 分野は特に問わないが、各施設で実施可能なもの。
- 倫理・法律に反しないもの。

エントリー・お問合せは、上記ホームページよりお願いいたします。



# 続々オープン!

～イノベーション拠点立地促進助成金活用の一例～

## billage OSAKA ビレッジオオサカ

「ヒト・モノ・カネ・情報」が集まるワークスペース  
イノベーションが生まれるプラットフォーム“billage OSAKA”

所在地 ■ 大阪市中央区本町4-2-12 東芝大阪ビル8F  
運営会社 ■ 株式会社MJE  
(本社所在地: 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル6F)

2006年に大阪で設立された株式会社MJEは、サービスやコミュニケーションを通じて世の中を元気にするというビジョンを掲げ、インフラ構築支援等のオフィスソリューション事業を中心に全国展開しています。2018年4月、シェアスペース事業として、ワークスペース“billage OSAKA”をオープンしました。

当施設は、御堂筋沿いで本町駅至近という抜群の立地に、コワーキングスペース・レンタルオフィス・固定デスクとミーティングルーム等で構成されています。コワーキングスペースには100席を用意し、50～100名を収容可能なイベントスペースを併設。レンタルオフィスは専用個室が45室で9割が契約済です。現在約886㎡を使用していますが、ビル内で増床する計画です。

当施設と一般的なシェアオフィス、レンタルオフィスとの違いは、起業、コミュニティ形成、資金調達を支援することを目的としたインキュベーション施設であるということ。起業家やスタートアップ支援に特化したサービスや各種イベント・セミナーを、年間100回開催する予定です。イベント参加者はもちろん、コンセプトに沿った内容なら主催者も



提供 / MJE

無料。資金調達サポートやメンターとの出会い、ピッチ機会の創出など、大阪での起業における課題解決にも貢献します。最近ではSNS等で当施設の情報が広まり、東京の企業からのイベント開催の申し込みも増えてきました。

こうした取り組みが評価され、“billage OSAKA”は、大阪市イノベーション拠点立地促進助成制度のベンチャー成長促進事業の認定を受け、社内外における企画推進と実現に大変助けになりました。企業が生まれ、成長することは、大阪の活性化と共に、当社のビジネスの拡大にもつながります。今後もコンテンツ面を充実させた施設運営で、大阪のスタートアップやベンチャーを支援していきたいと考えています。

(取材: 2018年10月 / 株式会社MJE 事業戦略室 室長 柿木原 明良 氏・CP事業部 阪田 大 氏)

## Garage Minato ガレージ ミナト

先進のアイデアを町工場の技術でスピーディに具現化  
世界のものづくりの課題解決を目指すイノベーション拠点

所在地 ■ 大阪市港区波除1-4-35 成光精密株式会社 2F  
運営会社 ■ 成光精密株式会社

成光精密株式会社は、自動車等の試作品用の部品加工や、産業用機械の設計・製作を手がけており、特に高精度が要求される精密部品の製作に自信があります。大阪市はものづくり企業が集積する街ですが、近年は技術者数も事業者数も減少しているという課題があり、活性化したいと考えていたところ、株式会社リバネスの代表取締役CEO 丸 幸弘氏と出会いました。研究者集団であるリバネス社との連携により、研究者やベンチャーと、町工場の技術者との出会いと協働の場を設け、世界のものづくりの課題を解決していこうという志のもとに誕生したのが、“Garage Minato”です。

当施設のコンセプトは、「アイデアをすぐカタチに、アイデアと工場をつなぐプラットフォーム」。研究者のアイデアがその場ですぐに具現化されるように、社屋の2階にオープンイノベーションスペースを設置し、1階の工場をものづくり空間として提供しています。顔と顔を合わせることで研究者と技術者の連携を強化し、同時に各専門技術をもつ町工場同士の横のつながりも深め、下請け構造からの脱却を図るのもねらいです。

当施設では毎月イベントを開催しており、大阪市が認定した9人の



提供 / 成光精密

技能者「大阪テクノマスター」によるセミナー、専門家による学術的な勉強会、さらにはベンチャーピッチの機会を設ける3部構成で、各回80名超の参加者でにぎわっています。試作品をスピーディに商品化することを目指し、スポーツ機器開発プロジェクトをはじめ、現在数件の開発案件が進行中です。

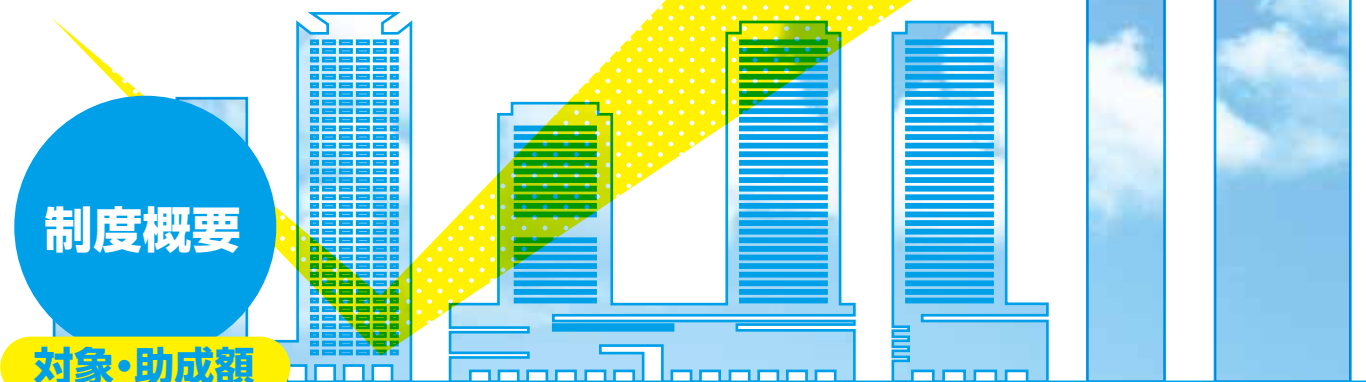
“Garage Minato”は、大阪市イノベーション拠点立地促進助成制度において、オープンイノベーション推進事業に認定されました。今後も自治体との連携を強め、大阪で育まれた高度な精密加工技術と全国のクリエイターが持つアイデアや先端技術との融合により、新規事業創出に貢献したいと思っています。

(取材: 2018年10月 / 成光精密株式会社 代表取締役 高瀬 洋徳 氏)



# 大阪市イノベーション拠点 立地促進助成金制度のご案内

世界から人材・技術・投資が集まるイノベーション都市をめざし、オープンイノベーションやベンチャー育成を通じて新しいビジネスを生み出す拠点施設の整備を助成します。



## 1 オープンイノベーションによる新しい製品やサービス等の企画・開発に向けて、多様な企業等と交流を行う拠点

- 拠点所有の場合 助成対象面積が1,000㎡以上、助成上限額**3億円**(5年分割支払)
- 賃借の場合 助成対象面積が300㎡以上、助成上限額**6,000万円**(最長2年間)

## 2 ベンチャー企業等の事業化に向けたサポート、コミュニティ形成や事業プロジェクト創出のためのイベント等を行う拠点

- 拠点所有の場合 助成対象面積が300㎡以上、助成上限額**1億円**(5年分割支払)
- 賃借の場合 助成対象面積が300㎡以上、助成上限額**6,000万円**(最長2年間)

助成対象経費及び助成率	建物及びその附属設備の取得、改修工事、ベンチャー支援のための工作機械等取得経費などの10%以内、賃借料の1/2以内
助成対象面積	コワーキングスペース、イベント・セミナースペース、展示・実証スペース、ベンチャー企業等のためのオフィススペース、企画・共同研究開発スペース、試作品等開発支援スペース等

- 申請期間** 2017年7月12日から2020年3月31日まで(予定)
- 問合せ先** 大阪市経済戦略局立地交流推進部立地推進担当  
TEL: 06-6615-6765 E-mail: ga0024@city.osaka.lg.jp  
※交付にあたっての条件等がありますので、詳細はホームページ等でご確認ください。

詳しくはこちらのウェブページをご覧ください。 **イノベ立地** **検索**

## 夢洲へのIR誘致

大阪府と大阪市では、統合型リゾート(IR)の夢洲への誘致実現に向けた取り組みを進めています。IRとは、民間の知恵と工夫を最大限に活かして、ホテルやレストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、国際会議場・展示場、カジノ等の施設を一体的に設置・運営するものです。IRの立地により、外国人観光客の増加に伴う消費の拡大だけでなく、観光産業をはじめとする幅広い産業への需要拡大が見込まれ、地域経済が大いに活性化するとともに、質の高い雇用が創出されるなど、大きなプラスの波及効果が期待されます。さらに、国際会議場・展



示場などのMICE施設については、世界水準の競争力を備えたMICE拠点を形成することとしており、世界規模の商談や知的交流が行われ、最先端の技術動向等の情報が世界に発信されるなど、ビジネス創出に寄与する人・モノ・情報・技術の交流拠点となります。IRは大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなるものです。国際競争力の高い世界最高水準の成長型IRを早期に実現することで、大阪の更なる発展につなげていきます。



(協力:画像提供/大阪府・大阪市IR推進局)

## 新線“なにわ筋線”

なにわ筋線は、(仮称)北梅田駅(2023年春開業予定)と、JR難波駅および南海本線の新今宮駅をつなぎ、JR阪和線、南海本線を介して、大阪市の主要鉄道ターミナルである梅田ターミナル、難波ターミナルおよび天王寺ターミナル、国土軸の結節点となる新大阪駅および関西国際空港と直結する機能を有する新規鉄道路線です。なにわ筋線により、大阪都心ならびに京阪神圏の各拠点都市と関西国際空港とのアクセス性が強化される等、広域鉄道ネットワークの拡充が図られるとともに、沿線となるうめきた地区、中之島西部地区、難波・湊町地区および新今宮地区へのアクセス性が向上するため、拠点開発の促進が期待されます。整備区間は(仮称)北梅田駅～(仮称)西本町駅～JR難波駅および南海新今宮駅であり、新駅として、(仮称)中之島駅、(仮称)西本町駅、(仮称)南海新難波駅の整備を計画し、2031年の開業を目指して、事業化に向けて取り組んでいます。



(協力/大阪市 都市計画局計画部交通政策課)

## リニア中央新幹線

時速500kmで東京と大阪を約1時間で結び、東名・阪の巨大都市圏の誕生に期待が高まるリニア中央新幹線。現在、国土交通大臣から工事実施計画の認可を受けている品川～名古屋間の工事を進めており、2027年開業を予定しています。その後、連続して大阪への工事に速やかに着手し、全線開業は当初予定していた2045年から最大8年前倒すことを目指しています。名古屋～大阪間のルートおよび駅位置については、JR東海が建設の前に行う環境アセスメントの段階で、地形・地質や環境など制約条件を踏まえ、超電導リニアの特性を最大限発揮できる直線に近いルートを設定します。なお、名古屋・大阪間の環境アセスメントの手続きは、同区間の工事に着手する約4年前に開始する予定です。

(JR東海リニア中央新幹線サイトを参考にCBRE BZ空間編集部が作成) (http://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/) 2018年11月現在



提供/JR東海